

研究課題番号	2RF-1802
研究課題名	企業の温暖化適応策検討支援を目的とした公開型世界水リスク評価ツールの開発
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	花崎 直太

1. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、地球規模の気候変動が激化し、水資源・水環境に大きな影響が生じる中で、地球水循環を統合的に解析できる全球水資源モデル H08 を精緻化し、公開型世界水リスク評価ツールの開発を目指すものであり、当初の研究目標に対して充足する研究成果が得られている。研究代表者の研究実績である H08 を核にした地球規模での水資源量評価、水リスク研究課題であり、世界初の成果も挙げており、論文発表も行われていることから、その結果は評価したい。渇水や洪水の要因を含めた公開型水リスク評価ツールの開発は、企業での需要にどのように活用すれば良いかなど企業との連携をしながら具体的なリスクの対応ができれば適応策として期待できる。将来は水利用全般を視野に入れた水リスクの情報発信が期待される。水災害の多い我が国でこのモデルの高精度化により成果の検証、具体的な企業の適応策検討支援に利用されることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S